



2023年12月1日
 聖心女子学院初等科
 校長 大山 江理子
 12月号

Gloria —神への心からの賛美をこめて—

副校長 中塩 百合

救い主イエス・キリストのご降誕を待ち望む季節になりました。今年のクリスマス・ウィッシングは、4年ぶりに全学年がソフィアバラ・ホールに集い共に祈ります。初等科のクリスマス・ウィッシングは、キャストやナレーター、歌や合奏、スクリーンに映す写真撮影係と6年生全員が仕事を担い進めています。

いよいよ活動が開始となる10月には、6年生全員にお話をいたしました。30年ほど前のことになりますが、キャストの中に「駱駝の足」という役割がありました。3人の博士の横をゆっくりと歩き首をふる駱駝の姿は、本物と間違えそうになるほどそっくりで見事なものでした。駱駝にはホールにいる全員から大きな拍手が送られたのを思い出します。「駱駝の足」の役と聞くと、一瞬気の毒にと思われるかもしれませんが、子どもたちは駱駝が動いているビデオを借りてきて、どんな動きをすると駱駝らしくなるのか毎日話し合い、試行錯誤していたそうです。駱駝の足って面白そう!と考えた子どもたちの発想の転換が、駱駝の足の役をチャンスに変えました。イエス様も驚き喜んでくださったことでしょう。

6年生は、この話を真剣な眼差しで聞いてくれました。どの役もいただいた大事な役目、一人でも欠けるとウィッシングは成り立たないくらいの気持ちで務めてほしいと伝えましたが、同時に当日までの時間を楽しみながら取り組んで欲しいとも思っています。下級生たちも、ウィッシングをつくる大切な存在として準備をしています。

ウィッシングの最後には、全員で「Gloria」を大合唱します。ここ数年は、歌うことが出来ず少し寂しいウィッシングでしたが、今年は大きな喜びと神への心からの賛美をこめて皆で折り歌えることを感謝いたします。1年生と6年生の保護者の皆様にも、保護者代表として席をご用意しました。祈りの中で、主のご降誕を子どもたちと共にお祝いください。

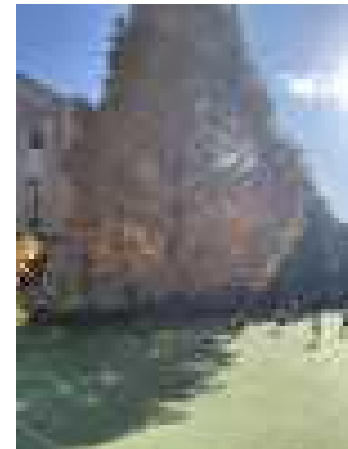
—「天のいと高きところに、神に栄光、
 地には善意の人に平和あれ」—



1-3年生 作文発表会




3-6年生 作文発表会



*喪中につき年末年始のご挨拶を失礼させていただきます。
 荒木 郁代 教諭

今年のクリスマス・ウィッシングのテーマ
The Wonder of Normal

ゆりの行列 クリスマス・ウィッシングのプラクティス
 「耳をかたむけ、問いかけよう」



クリスマスを迎える心になる 校長 Sr. 大山 江理子

暖かい11月を経て、冬の訪れが少しずつ感じられるようになりました。校庭のモミジはやっと色づき始めています。初等科ではクリスマス・ウィッシングの準備を始めています。英語の授業では、ウィッシングで歌う歌の歌詞を暗唱しています。楽しみな行事が近づいてきています。子どもたちはプラクティスも始めます。

大事なことを私たちは一気に受けとめることはできません。何ごとでも、少しずつ状況を整えて、受け入れる素地を作ることが大切です。プラクティスはイエスの誕生という神様からの最大の贈り物を受け取るための心の準備です。

美しい飾りも私たちの心を助けます。忙しさに埋没しそうな日々、新鮮な彩りを与えてくれます。校内に少しずつクリスマスの飾りが出現すると、心が引き立ちます。音楽もそうです。1年にこの時期にしか聞いたり、歌ったりすることのできない名曲がたくさんあります。そして、プレゼントやおいしい食べ物もクリスマスの喜びにつながります。

その中で一番大事なことは何なのでしょう。人間の赤ちゃんとして地上に来られたイエスの存在を思い起こすことです。聖書のルカによる福音書を見ると、イエスは非常に貧しい状況で生を受けています。マタイによる福音書では、3人の東方の博士が贈り物をもってイエスを訪ねてきますが、ユダヤの王様の政治的な思惑が垣間見える、不穏な状況であることも同時に読み取れます。羊飼いたちは、イエスの誕生の静けさと穏やかさを、3人の博士たちは、イエスの誕生の意味深さと荘厳さを、それぞれ馬小屋と贈り物という形で私たちに伝えていきます。しかし、ここで私たちが本当に見なければならぬのは、イエスの姿そのものです。神様の子どもが、無力な姿で人間に与えられているということです。小さないのちを大切に育てなければなりません。

先月来、ガザという町の名前をニュースで聞かない日がありません。これからどのように和平が進展するのかわかりません。多くの苦しみ・悲しみの声が聞こえてきます。イスラエルに隣り合う国、ヨルダンのキリスト諸教会はこのクリスマスには、イエスを迎えることに専念し、楽しみや喜びの要素は控えると決めたそうです。ガザの人々の思いを共にするためです。子どもたちは残念に思っているかもしれません。しかし、今はがまんするという事を通して、クリスマスの意味を深める時、そのように決断されたのでしょうか。

日本にいる私たちにも、クリスマスに向けて何を大事にするか問われます。子どもたちと共にプラクティスを通して考え、深めることができるよう願っています。



12月の行事

1日(金) 作文発表会(4限 3~6年)	12日(火) CW総練習(3-4限)
4日(月) ハイチデー②/ゆりの行列(2nd)	13日(水) 大掃除
1年・転入・編入保護者会	14日(木) 午前授業
5日(火) 6年CW練習(2限)	CW総練習(3-4限)
6日(水) ゆりの行列(1st)	6年CW練習(13:20-14:30)
7日(木) 6年CW練習(1-2限)	15日(金) クリスマス・ウィッシング
8日(金) 面談日・午前授業	18日(月) 信者静修会
11日(月) 面談日・午前授業	

